

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 令和元年 6月3日

仕事の内容	保育料徴収事業					
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係	課長名	関田 孝志

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行	2	—
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)		122	

予算名	款	11	分担金及び負担金	項	1	負担金	目	1	民生費負担金	事業	3	保育園入園者保育料
予算名	款	11	分担金及び負担金	項	1	負担金	目	1	民生費負担金	事業	3	私立保育園入園者保育料

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
	保育園に入園している児童の保護者及び保育料滞納者	→ 保育園に入園している児童数及び保育料滞納件数 (H31.5調定分)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
	決定した保育料の確実な納入をしてもらう。	→ 保育料の収納率
	③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
	(1) 保育料の滞納額が積み重なると、保護者は納入が大変になる。このため、滞納額が膨れ上がらないように、頻りに保護者に連絡をとり、保護者の事情に耳を傾けながら、滞納分の一部分だけでも納入していただく等、寄り添いながら相談に応じることに努めている。 (2) また、保育料の納入については、口座振替や納入通知書により金融機関で納入する方法があるが、新規入園者を中心に口座振替による納入の推進を行っている。	→ 保育料の調定額分

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	件	20,663	20,540	20,296		
	成果指標	②の数値	%	97.02	97.65	98.00		
	目 標	②の目標値	%	88.8	95.6	95.7	95.8	95.9
		目標値設定の考え方	第5次行政改革大綱					
活動指標	③の数値	円	393,967,430	396,433,780	393,880,230			

3 経費	事業費(実績)		円	1,876,388	1,921,760	1,920,150	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	1,876,388	1,921,760	1,920,150	
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	1	1	1	
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	8,267,000	8,267,000	8,244,000		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	10,143,388	10,188,760	10,164,150		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	保育料徴収事業は、市内に保育園が開園してから開始された。市内保育園のうち最も開園時期が早い保育園は、昭和28年に開園している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	保育料の納入率は、ここ最近90%以上となっている。 平成21年度から臨時職員を雇用し滞納者への催告を行ったことで、納入率(98.00%)は目標(95.7%)を上回った。

仕 事 の 内 容	保育料徴収事業					
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係	課長名	関田 孝志

5 市民 等 の 意 見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
	保育園に入園している児童の保護者からは、保育料のコンビニ収納の実施について要望されることがある。議会からは保育料の見直し等について、質問や要望をされることが多い。

6 市民 協 働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）	
	取り組みは無い	取組手法
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		

7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容
	収納率は上がったが、依然として滞納が続く保護者もいる。保育園に子どもを預けている世帯は、基本的に仕事等で多忙であることから、納付書での支払いの場合、納期限に間に合わず納付が遅れるケースが多々見られる。
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 昨年度に引き続き、口座振替による納付を推進することで、口座振替率及び収納率が上昇した。新規入所者への案内のほか、窓口で納付書等を再発行される方には口座登録の案内を行った。 また、H31年度よりパーシー口座振替登録を開始することで、口座振替率の上昇が期待できる。 滞納者への対応としては、電話催告に応じない世帯を中心に臨戸徴収を2回行い、保育料を徴収した。
(3)(2)を踏まえた今後の課題	
口座振替登録の推進や催告により徴収率は上昇しているが、保育料を滞納した状態で市外へ転出し連絡が途絶える世帯が増えている。 滞納者が退園手続きにて来庁した際に、連絡先や職場を再度確認し未納が生じないよう対応する。また、滞納者を対象に実施している児童手当からの特別徴収では、徴収を辞退する世帯が数件あった。	

8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）
	H31年度より開始する、ハイクー-口座振替登録の周知を積極的に行う。 児童手当からの保育料の支払いや、臨戸訪問の機会を増やして行きたい。 退園手続き時に未納分について保護者と相談し、連絡先等を再確認する。
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
周知用のチラシ等を作成し送付物に同封する。 督促状以外に催告書を定期的に送付し、未納の金額を保護者に把握していただく。	
(3)改革・改善案による期待成果	
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。	

成果	成果を向上させる。	経費	仕事の経費は維持する。
----	-----------	----	-------------